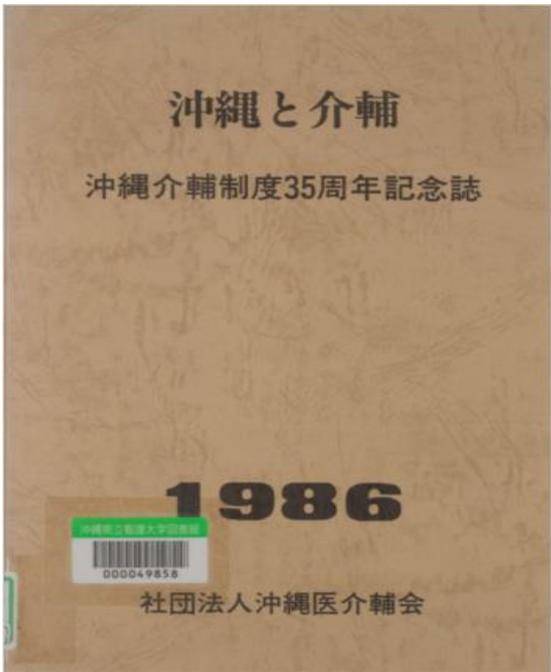


所蔵番号 006	収蔵年月日 2022年12月1日	
資料名 沖縄と介輔：沖縄介輔制度35周年記念誌		
著者・編集者	社団法人沖縄医介輔会	
発行者・発行所	社団法人沖縄医介輔会 発行年 1986年	
解説 沖縄では戦前から数少なかつた医師が、沖縄戦でさらに激減した。1951年、琉球列島米国民政府は、医師不足を補うために、衛生兵など医療経験のある者の医療活動を認める介輔制度を施行した。介輔は活動地域や医療内容が制限され、医療従事者が少なかつた離島・へき地で活動した。制度発足時の1951年に介輔は126名いたが漸減し、2008年で活動を終えた。発足35周年を迎えて刊行された記念誌では、関係者の寄稿、歴代会長や会員が執筆した思い出から、介輔の活動とともに、戦前から日本復帰までの離島・へき地の医療、保健の様子が見える。資料として、終戦から日本復帰までの介輔の根拠法の変遷、当時の医療統計や医療概要も収録されている。		
	資料の閲覧	
	Web 非公開	
	館内 非公開	
備考 個人情報に連結した機微情報が多数あるため非公開（研究目的の閲覧など、図書館長の許可があった場合は原本の閲覧可）		

○次ページより目次をご覧ください。

沖縄と介輔——沖縄介輔制度35周年記念誌

も く じ

口 絵

歴代会長

勲章・褒賞、医療功労賞受賞者

発刊のことば

社団法人沖縄医介輔会会長 野原 廣和…………… 1

祝 辞

今後も医療体制整備に御協力を

沖縄県知事 西銘 順治…………… 11

コメディカルとしての役割重大に

参議院議員 大浜 方榮…………… 12

離島・へき地の医療確保に御活躍を

沖縄県環境保健部長 原 實…………… 13

県民の健康と医療福祉向上に協力

沖縄県医師会長・(財)沖縄県医療福祉センター理事長 宜保 好彦…………… 15

絶えざる地域医療への貢献に敬服

沖縄県医師会顧問 福福 全志…………… 16

ユニークな介輔制度の存在意義

沖縄県生会附属診療所長 照屋 善助…………… 17

お元気で良きバトンタッチを

琉球大学名誉教授 照屋 寛善…………… 19

地域医療保健への尽力に感謝

沖縄県市長会会長 桑江 朝幸…………… 21

沖縄の医療行政の貴重な資料

沖縄県町村会会長 金城 哲雄…………… 22

熱心な介輔研修会に敬意

(財) 沖縄県医療福祉センター事務局長 那根 哲…………… 24

離島住民との困り信頼のきずな

座間味村長 田中 豊…………… 26

寄稿

介輔の前身・医師助手について

沖縄借生会附属診療所長 照屋 善助…………… 31

八重山諸島における医介輔の活躍

竹富町長 友利 哲雄…………… 34

歴代会長の思い出

介輔制度35周年を迎えて

初代会長 諸見里安善…………… 39

派遣医師の認識不足発言

2代会長 池原 治正…………… 40

復帰時の介輔の身分保障

4代・6代会長 新屋敷加那…………… 42

復帰後の環境整備と医療の充実

7代会長 上地 寛…………… 43

沖縄戦からの医療従事

8代会長 新崎 康生…………… 45

波嘉敷村勤務の9カ年

9代会長 野原 廣和…………… 47

会員の思い出

我が半生の思い出を語る

具志頭村具志頭介輔診療所 伊集 朝信…………… 53

警報下、くり舟の急患輸送

県立名護病院附属古宇利診療所 上原 信康…………… 54

那覇の医師と緊密な連絡

仲里村美崎介輔診療所 宇江原龍徳…………… 56

津堅島へ3年間の単身赴任			
	勝連町平敷屋介輔診療所	宮里 善昌	83
学校保健の向上にも寄与(遺稿)			
	元名護市屋我地介輔診療所	宮里 政謙	85
コンセットから瓦ぶきへ			
	名護市屋部介輔診療所	山里 行義	86
へき地医療60余年をふり返って			
	竹富町竹富介輔診療所	山盛 顕	87

会のあゆみ

1. 沖縄介輔会ができるまで

1) 戦後混乱期の医師不足	93
2) 介輔制度の創設	94
3) 各地区に介輔会	95

2. 沖縄介輔会の活躍

1) 沖縄介輔会の発足	96
2) 介輔の薬品使用制限	98
3) 分院開設期間の打ち切り	100

3. 介輔の身分保障

1) 復帰前の身分保障について	100
2) 復帰に伴う身分保障の特別措置	101

4. 社団法人沖縄医介輔会の設立

1) 社団法人に飛躍的發展	102
2) 会員対象の医学研修会実現	104

資料編

○沖縄群島政府組織図・各部署局長名	107
○戦後歴代関係機関長名	
行政主席・知事/109	

琉球列島高等弁務官／110

公衆衛生部長・厚生部長・厚生局長・社会局長・厚生部長・環境保健部長／111

各保健所長／113

各県立病院長／116

施設長等調／118

病院管理局／118

○医療統計

医療人調査（1946年4月、1950年12月末）／119

医療衛生施設・職員数調（1950年12月末）／120

医療人調査（1953年8月末）／121

年次別医療関係者推移（1937～1960年）／122

介輔及び歯科介輔就業状況（昭和36、46、55、61年）／122

介輔資格取得者調（介輔登録者）／122

医療概要（昭和60年度）／123

1）医療施設の年次別推移（昭和50～59年）

2）医療施設数（昭和59年末）

3）医療従事者の年次別推移（昭和45～59年）

4）保健所別医療従事者数並びに全国及び類似県との比較（昭和59年末）

5）介輔・歯科介輔の市町村別状況（昭和59年末）

6）救急医療体制の連絡窓口

○関係法規

公衆健康及び衛生（米国海軍軍政府布告9号）／127

沖縄民政府訓令甲第1号／127

診療費徴収規程改正（沖縄民政府令第1号）／128

医師助手廃止／129

歯科医師助手廃止／130

沖縄群島介輔及び歯科介輔営業府令（沖縄群島政府令第7号）／131

医師法／133

介輔及び歯科介輔規則／134

統制薬品取締法／137

薬剤師法／145

薬事法／146

沖縄の復帰に伴う特別措置に関する法律／147

沖縄の復帰に伴う厚生省関係法令の適用の特別措置等に関する政令／149

沖縄の復帰に伴う厚生省関係の特例に関する省令／151

生活保護法施行規則／152

○介輔関係

沖縄介輔会会則／153

社団法人沖縄医介輔会定款／155

介輔・歯科介輔診療所配置図（1971年3月）／158

介輔及び歯科介輔制度の沿革／160

「沖縄と医介輔」（仲村源英）／162

琉球政府時代における奄美の介輔／166

請願書／167

医学研修会記録／169

名簿（介輔従事者名、介輔退職者名、介輔転職者及び永脱者名、歯科介輔従事者名、
歯科介輔転職者及び永脱者名、勲章・褒章受賞者、医療功労賞受賞者、（社）沖
縄医介輔会役員・理事名（復帰後））／175

年表 185

新聞集成 223

編集後記／253